

「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラム

# OSAKA FORUM

大阪フォーラム

2002年10月21日～23日

開催要項・研究発表募集

第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI)  
アジア太平洋地域会議

「アジア太平洋障害者の十年」  
推進キャンペーン(RNN)大阪会議

第25回総合リハビリテーション研究大会

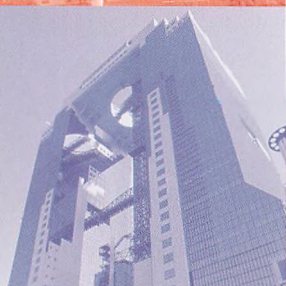
国際職業リハビリテーション研究大会



URL: <http://www.normanet.ne.jp/~osakaf/>

障害者の権利実現へのパートナーシップ

PARTNERSHIPS FOR DISABILITY RIGHTS



## 申込締切日

研究発表(口頭発表・ポスター・ビデオ) 抄録提出締切	フォーム B	平成14年7月22日
事前登録締切	フォーム A	平成14年9月13日
宿泊申込締切	フォーム C	平成14年9月13日

# PARTNERSHIPS DISABILITY RIG

## 目次

組織委員長挨拶	1	プログラム 10月21日(月)	8
組織	2	プログラム 10月22日(火)	10
「アジア太平洋障害者の十年」	4	プログラム 10月23日(水)	14
大阪フォーラムの内容	5	参加登録方法(RI/RNN/総合リハ研究大会)	16
開催概要	6	研究発表募集および抄録提出方法	18
プログラム概略	7	交通	20
		宿泊	21





## 八代 英太

「アジア太平洋障害者の十年」  
最終年記念フォーラム組織委員会組織委員長

衆議院議員・前郵政大臣

### ご 挨拶

2002年10月21日～23日に大阪で開かれる大阪フォーラムに皆様をお招きできますことを誠に光栄に存じます。本フォーラムは「アジア太平洋障害者の十年」（1993～2002）の最終年記念フォーラムの一部として開催されるものであり、今回の大阪フォーラムとこれに先立って札幌で開催される第6回DPI世界会議（2002年10月15日～18日）とでこの記念フォーラムの催しは構成されることになります。

大阪フォーラムでは、1) 第12回リハビリテーション・インターナショナル（RI）アジア太平洋地域会議、2) 「アジア太平洋障害者の十年」推進キャンペーン（RNN）大阪会議、3) 第25回総合リハビリテーション研究大会、そして4) 国際職業リハビリテーション研究大会という4つの大きな会議が行われます。

大阪フォーラムのメインテーマは「障害者の権利実現へのパートナーシップ」であり、この十年間にアジア太平洋地域の各国で蓄積された経験や実績を総括し、これをアジア太平洋地域の人々の間で、また世界の他の地域からの参加者との間でも共有することを意図しています。

さらに国連障害者権利条約の実現をめざし、また本年5月22日にESCAPで決定された、新しい「アジア太平洋障害者の十年」に障害者の完全参加と平等を達成するために必要な、さらなる活動について話し合うことが主たる目的です。多数の方々に積極的にご参加いただくことで、大阪フォーラムは必ずや意義深く実り豊かな会議となることと確信しております。

最後に本会議が是非とも成功するよう皆様の全面的なご協力をお願いして、私からのご挨拶とさせていただきます。

八代 英太

FOR  
HTS



# 組 織

The Organizers

## 組 織

### 「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラム組織委員会

- ・日本身体障害者団体連合会
- ・日本障害者協議会
- ・全国社会福祉協議会
- ・日本障害者リハビリテーション協会
- ・日本障害者雇用促進協会
- ・2002年第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会（DPI日本会議）
- ・アジア太平洋障害者の十年最終年記念大阪フォーラム組織委員会

リハビリテーション・インターナショナル (RI)

アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議 (RNN)

## 後援団体(依頼中)

国連アジア太平洋経済社会委員会 (UN ESCAP)、内閣府、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、東京都、北海道、大阪府、滋賀県、札幌市、大阪市、堺市、日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、日本赤十字社、国際協力事業団、中央共同募金会、社会福祉・医療事業団、テクノエイド協会、日本財団、長寿社会開発センター、車輛競技公益資金記念財団、日本小型自動車振興会、日本自転車振興会、中央競馬馬主社会福祉財団、広げよう愛の輸運動基金、日本テレビ系列愛の小鳩事業団、安田火災記念財団、キリン福祉財団、丸紅基金、太陽生命ひまわり厚生財団 ほか

## アジア太平洋障害者の十年最終年記念フォーラム組織委員会

### 組織委員会委員

- |  |  |
|--|--|
| ● <b>組織委員長</b><br>八代 英太 衆議院議員                    | ● <b>募金特別委員長</b><br>金田 一郎 社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター 理事長         |
| ● <b>委員長代行</b><br>山下 眞臣 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 会長 | ● <b>実行委員会委員長</b><br>板山 賢治 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 副会長       |
| ● <b>副委員長</b><br>兒玉 明 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 会長     | ● <b>総務企画委員会委員長</b><br>藤井 克徳 日本障害者協議会 常務理事                 |
| 河端 静子 日本障害者協議会 代表                                | ● <b>財務委員会委員長</b><br>奥山 元保 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 常務理事      |
| 長尾 立子 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 会長                        | ● <b>広報・記録委員会委員長</b><br>比留間ちづ子 社団法人 日本作業療法士協会 常務理事         |
| 板山 賢治 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 副会長                  | ● <b>キャンペーン委員会委員長</b><br>松友 了 社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会 常務理事      |
| 松原 亘子 日本障害者雇用促進協会 会長                             | ● <b>国際会議委員会委員長</b><br>丸山 一郎 アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議(RNN) 事務局長 |
| 山田 昭義 DPI日本会議 議長                                 | ● <b>札幌フォーラム委員会委員長</b><br>神田 直也 第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会 会長     |
| 神田 直也 2002年第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会 会長                | ● <b>大阪フォーラム委員会実行委員長</b><br>上田 敏 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 副会長 |
| 嵐谷 安雄 「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念大阪フォーラム組織委員会 委員長        | ● <b>事務総長</b><br>松尾 武昌 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 常務理事               |
| 松井 亮輔 リハビリテーション・インターナショナル(RI) 副会長                | ● <b>事務局長</b><br>奥山 元保 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 常務理事          |
| 上田 敏 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 副会長                   |  |
| 笹川 吉彦 社会福祉法人 日本盲人会連合 会長                          |  |
| 安藤 豊喜 財団法人 全日本ろうあ連盟 理事長                          |  |
| 緒方 直助 社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会 理事長                     |  |
| 雄谷 助成 財団法人 日本知的障害者福祉協会 会長                        |  |
| 吉屋 治男 財団法人 全国精神障害者家族会連合会 理事長                     |  |
| 谷中 輝雄 社会福祉法人 全国精神障害者社会復帰施設協会 会長                  |  |
| 坂口 亮 全国肢体不自由児施設運営協議会 会長                          |  |
| 江草 安彦 社団法人 日本重症児福祉協会 理事長                         |  |
| 北郷 勲 財団法人 日本障害者スポーツ協会 会長                         |  |

## 大阪フォーラム組織委員会

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| ● <b>組織委員長</b><br>嵐谷 安雄 財団法人 大阪府身体障害者福祉協会 会長 | 手嶋 勇一 財団法人 大阪市身体障害者団体協議会 会長         |
| ● <b>副委員長</b><br>楠 敏雄 DPI日本会議 副議長            | 古谷 泰啓 社会福祉法人 大阪市障害者更生文化協会 常務理事・事務局長 |
|  | 牧口 一二 障害者情報文化研究所                    |



● 委員

- 浦 友亮 財団法人 大阪府視覚障害者福祉協会 会長
- 岡本 榮一 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 会長
- 小沢 温 大阪市立大学 助教授
- 北野 誠一 桃山学院大学 教授
- 清田 廣 社団法人 大阪聴力障害者協会 会長
- 佐藤 貞良 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 事務局長
- 澤村 誠志 兵庫県立総合リハビリテーションセンター 顧問
- 塩見健一郎 社会福祉法人 大阪知的障害者育成会 理事長
- 慎 英弘 花園大学 教授
- 辻 一 社団法人 大阪脊髄損傷者家族連合会 会長

- 寺本 徳造 社団法人 大阪府精神障害者家族連合会 会長
- 中川 隆 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 事務局長
- 藤本 太 堺市障害者(児)団体連絡協議会 会長
- 古川 敏雄 社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 事務局長
- 保田八十次 社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会 理事長
- 上田 敏 大阪フォーラム実行委員会 委員長

- 大阪フォーラム事務局長 関 宏之 大阪市職業リハビリテーションセンター 所長
- 大阪フォーラム事務局次長 正井 秀夫 大阪市職業リハビリテーションセンター 支援係長

リハビリテーション・インターナショナル (RI)

- 会長 レックス・フリーデン (アメリカ)
- 前会長 アーサー・オライリー (アイルランド)
- 事務総長 トーマス・ラガウォル (スウェーデン)
- 会計 ジョージ・ウィルソン (イギリス)
- アジア太平洋地域担当副会長 松井 亮輔
- アジア太平洋地域担当次席副会長 ペニー・チェン (中国香港特別行政区)
- アフリカ地域担当副会長 B・T・ナイドウ (南アフリカ)
- アフリカ地域担当次席副会長 ギティオン・カイノ・マンデシ (タンザニア)
- アラブ地域担当副会長 エイサ・アリ・モハメッド・アル・サディ (クウェート)
- アラブ地域担当次席副会長 カーレド・エル・モータル (レバノン)
- 北アメリカ地域担当副会長 ナンシー・ラウンド (カナダ)
- 北アメリカ地域次席副会長 スーザン・ダニエルズ (アメリカ)
- ヨーロッパ地域担当副会長 ハイティ・リンドバグ (フィンランド)
- ヨーロッパ地域担当次席副会長 ジリ・ボタバ (チェコ)
- ラテンアメリカ地域担当副会長 オットー・マルケス・ダ・シルバ (ブラジル)
- ラテンアメリカ地域担当次席副会長 ホルヘ・エンリケ・シエラ・レイエス (コロンビア)

リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域委員会

- 委員長 松井 亮輔
- 委員長代理 ペニー・チェン (中国香港特別行政区)
- 副委員長 S・M・スガン・スバリ (インドネシア)
- 事務局長 ジョセフ・クオック (中国香港特別行政区)
- 医学委員会委員長 サリハ・オマール (マレーシア)
- 社会委員会委員長 佐藤 久夫
- 就労・雇用委員会委員長 デボラ・ウォン (中国香港特別行政区)
- 就労・雇用委員会副委員長 大渡 憲一
- 教育委員会委員長 ペニー・プライス (オーストラリア)
- 教育委員会副委員長 ウマ・トゥリ (インド)
- 福祉機器・アクセス専門委員会 (ICTA) 委員長 アーサー・F・T・マック (中国香港特別行政区)
- レジャー・レクリエーション・スポーツ委員会委員長 朴 昌一 (バク・チャニル) (韓国)
- 情報委員会委員長 カレン・スガイ (中国香港特別行政区)
- 地域に根ざしたリハビリテーション (CBR) 委員会委員長 ハンドヨ・チャンドラクスマ (インドネシア)

アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議 (RNN)

- 事務局長 丸山 一郎

各国NGO代表

- インドネシア 障害者協会 ロデワイク・マスルング
- オーストラリア 全国障害者サービス事業協会 (ACROD) ブライアン・ウッドフォード
- 韓国 障害者リハビリテーション協会 (KSRD) 趙 一黙 (チョー・イルムク)
- シンガポール 障害者福祉協会 ジュディ・ウィー
- タイ 全国社会福祉協議会リハビリテーション委員会 ナロン・パティバツアラキッチ
- 中国香港特別行政区 香港復康聯會 ハリー・ファン
- 日本 新・障害者の十年推進会議 山下 眞臣
- ニュージーランド 障害者会議 (DPA) ビル・ライトソン
- バングラデシュ 身体障害者リハビリテーション協会 (SARPV) シャヒドール・ハク
- フィリピン 障害者連合 (KAMPI) ドミンガ・ケヤド
- ベトナム 障害をもつ人々の明るい未来のためのグループ ドゥオン・ティ・バン
- マレーシア リハビリテーション協議会 カティジャ・スリエマン

国際NGO代表

- アジア太平洋リハビリテーション従事者行動ネットワーク (RANAP) ジョセフ・クオック (中国香港特別行政区)
- アジア盲人連合 (ABU) クア・チェン・ホック (シンガポール)
- 国際育成会連盟 (II) アジア委員会 J・B・マンロ (ニュージーランド)
- 障害者インターナショナル (DPI)・アジア太平洋地域評議会 ビーナス・イラガン (フィリピン)
- 世界ろう連盟 (WFD) アジア太平洋事務局 小椋 武夫
- 南アジア障害者ネットワーク (SAN) シャヒドール・ハク (バングラデシュ)
- リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域委員会 松井 亮輔

# 「アジア太平洋障害者の十年」

The Asian and Pacific Decade of Disabled Persons

1981年の国際障害者年と国連障害者の十年(1983年～1992年)に続いて、国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) は北京で開催された第48回年次総会 (1992年) で1993年から2002年までを「アジア太平洋障害者の十年」と宣言するとともに、この十年間に取り組むべき最も緊急な12の行動課題を決議しました。そして、この十年の間にはアジア太平洋地域において、障害者の人権と完全参加と平等を推し進め、また保障するために各国政府のみならず民間によっても数多くの努力が払われてきました。

アジア太平洋障害者の十年における民間の様々な活動の中で特筆すべきものの1つは「アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議」(RNN) が毎年主催してきた一連の地域キャンペーンです。これは1993年に沖縄の浦添市でスタートし、下記のとおりアジア太平洋地域の様々な都市で順次開催されてきたものであり、このキャンペーンはこの十年の目標に対する一般社会の認識を深め、支援を得る上で大きな成功を取ってきています。

1993	沖縄	1998	香港 (中国)
1994	マニラ (フィリピン)	1999	クアラルンプール (マレーシア)
1995	ジャカルタ (インドネシア)	2000	バンコク (タイ)
1996	オークランド (ニュージーランド)	2001	ハノイ (ベトナム)
1997	ソウル (韓国)	2002	大阪

なお、2002年5月22日、ESCAP総会は「アジア太平洋障害者の十年」を更に10年延長し「貧困と障害との悪循環」を断ち切るための対策等に取り組むことを決議しました。これからの十年のあり方を考えることが今大きな課題となっています。

## 大阪フォーラム

「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラムは2002年の年間を通じたキャンペーンであり、その集大成として2002年10月に3つの国際会議と2つの国内会議が開催されます。その目的は「アジア太平洋障害者の十年」の12の行動課題の実現状況について総括するとともに、過去9回にわたるキャンペーンの成果を話し合うことを通して、新たな「アジア太平洋障害者の十年」の活動の方向とこれまで以上のネットワーク作りを提案していくことです。

大阪フォーラムはこの記念フォーラムの2つの主要な行事のうちの1つであり、もう1つの主要行事は札幌フォーラム、すなわち第6回DPI世界会議 (10月15日～18日) です。

大阪フォーラムでは、第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域会議、アジア太平洋障害者の十年推進キャンペーン (RNN) 大阪会議、総合リハビリテーション研究大会 (総合リハ)、そして国際職業リハビリテーション研究大会 (職リハ) という4つの大きな会議が行われます。

また大阪フォーラムに引き続き、滋賀県大津市で国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) の「アジア太平洋障害者の十年」最終年ハイレベル政府間会合が開かれ、新しい「アジア太平洋障害者の十年」の政府レベルの活動が討議されますが、それに向けて地域のNGOの意見をとりまとめ、それが同会合での議論に反映されるように働きかけていくことも大きな目的です。



# 大阪フォーラムの内容

Osaka Forum Meetings

## 第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域会議

第12回RIアジア太平洋地域会議は、1965年の第3回RI地域会議（東京、当時は「第3回汎太平洋リハビリテーション会議」）、1988年の第16回RI世界会議（東京）に続く、日本で3回目、関西でははじめてのRIの会議です。1922年に生まれたRIは、今年で80周年を迎え、世界の80か国約130団体が加盟する、障害者のための総合的なリハビリテーション、すなわち医学、職業、社会、教育、工学などを通しての「全人的復権」の実現を目的とする国際組織で、国連の諮問団体でもあります。第12回RIアジア太平洋地域会議の主な目的は、「障害者の権利実現へのパートナーシップ」というテーマにも示される通り、障害者インターナショナル (DPI)、国際育成会連盟 (II)、世界盲人連合 (WBU)、世界ろう連盟 (WDF)、世界盲ろう者連盟 (WFDB)、そして精神医療利用者・生還者世界ネットワーク (WNUSP) などの主要な障害関連国際NGO組織との緊密な協力の中で、国連障害者権利条約の制定を促進することであり、またアジア太平洋地域の各国NGO、前述の国際NGOの地域組織、次に述べるRNNなどと協力して新しい「アジア太平洋障害者の十年」の課題を解決していくための方策、組織のあり方などを検討することです。

## 「アジア太平洋障害者の十年」推進キャンペーン (RNN) 大阪会議

アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議 (RNN) は、沖縄で開催された「『十年』を推進するNGO会議キャンペーン'93」での決議として1993年10月19日に設立されました。RNNの使命は、具体的な成果を目指して「十年」を積極的に推し進めていくことです。

その主な役割は次の通りです。

- ・ 各国のNGO間の協力・連携を強める
- ・ 「アジア太平洋障害者の十年」の行動課題の実現に当たって各国や国連機関に協力する
- ・ 「アジア太平洋障害者の十年」について地域内の人々に周知徹底させ、その理解を深めるように働きかける

本年のキャンペーンの課題はこの十年の課題を評価・総括し、新たな十年の活動の方策・組織を検討し方向づけていくことです。

## 第25回総合リハビリテーション研究大会 (総合リハ)

この大会は、わが国のリハビリテーションの様々な分野で活躍している専門家の全国会議で、1977年に「リハビリテーション交流セミナー」として始まりました。その使命は、障害をもつ人の総合的なリハビリテーション（全人的復権）の実現です。以来、この会議は毎年日本各地で開催され、広範な分野の専門家と障害者が一堂に会して包括的なリハビリテーションのサービスとシステムの確立の方法を語り合い、また国内外の最新の情報を得る場となっています。

今回の総合リハビリテーション研究大会では、今年が「アジア太平洋障害者の十年」の最終年であることを記念して、RIとRNNへの参加者をも招き、最終年記念フォーラムのキャンペーンの3つのテーマ（欠格条項、障害者計画、情報バリアフリー）と関係深い4つのテーマの分科会を中心に、様々な共通の話題を共に論じ合うことを意図しています。また、バリアフリー環境と多数の障害者を雇用していることで有名なユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) の見学ツアーも含まれています。

## 国際職業リハビリテーション研究大会 (職リハ)

日本障害者雇用促進協会は厚生労働省と連携し、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障害者の雇用の促進と安定に貢献するため、事業主、関係機関等と協力して各種業務を行っています。

その1つとして、職業リハビリテーション関係者が研究成果や実践等について発表し、意見交換・交流を行う「職業リハビリテーション研究発表会」を1993年から毎年開催し、多数の研究者、障害者職業カウンセラー、関係機関の専門家、事業主、行政機関職員等の方々の参加を得ています。

本年については「アジア太平洋障害者の十年」最終年の記念事業であることから、研究や実践に関する発表に、日本と海外の職業リハビリテーション関係者が相互に意見交換を行う国際交流分科会を加えた「国際職業リハビリテーション研究大会」として開催することとしています。

国際職業リハビリテーション研究大会に参加ご希望の方は日本障害者雇用促進協会までご連絡ください。  
TEL. 043-297-9067 Fax. 043-297-9057 Eメール: kikakubu@nivr.jaed.or.jp

# 開催概要

Conference Information

Conference Information

## 期 間

平成14年10月21日(月)～23日(水)

## 開催会場

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)…………… サイトA

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)…………… サイトB

〒590-0115 大阪府堺市茶山台1-8-1

大阪市舞洲障害者スポーツセンター(アミティ舞洲)…………… サイトC

〒554-0041 大阪府大阪市此花区北港白津2-1-46

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)…………… サイトD

〒554-0031 大阪府大阪市此花区桜島2-1-33

大阪国際交流センター…………… サイトE

〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8-2-6

## 使用言語

1. RIとRNNは基本的に英語で行われますが、ほぼ全会場で日本語への同時通訳を行います。
2. 総合リハビリテーション研究大会は基本的に日本語で行います。
3. RI/RNN/総合リハの研究発表(10月23日)は基本的に英語ですが、総合リハについては日本語でのポスター発表も歓迎します。

## 情報・ボランティアサービス

- ①プログラムの主要部分は、点字をご用意いたします。
- ②拡大文字プログラムをご用意いたします。
- ③全体会及び一部の分科会に手話通訳がつかます。
- ④全体会及び一部の分科会で要約筆記を行います。
- ⑤全体会及び一部の分科会に磁気ループをご用意いたします。
- ⑥ボランティアによる各種の介助をご用意いたします。

## 交 通

主要なホテルと会場の間にはバスを運行します。リフト付バン・バスもご利用いたします。

## 関連行事

### 第6回DPI世界会議

平成14年10月15日(火)～18日(金)

場 所：北海道札幌市豊平区豊平5条11丁目 きたえーる

連絡先：2002年第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会

〒060-0012 北海道札幌市中央区北十二条西23丁目5 SDC北12条ビル4F

TEL: 011-632-7666 FAX: 011-632-7667 E-mail: info@dpi-sapporo.org

●プログラム・発表のお問い合わせは

連絡先：特定非営利活動法人DPI日本会議

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

TEL: 03-5256-5365 FAX: 03-5256-0414 E-mail: dpi.presentation@mbj.nifty.com

### ESCAP「アジア太平洋障害者の十年」最終年ハイレベル政府間会合

平成14年10月25日(金)～28日(月)

主 催：日本政府、滋賀県

場 所：滋賀県大津市

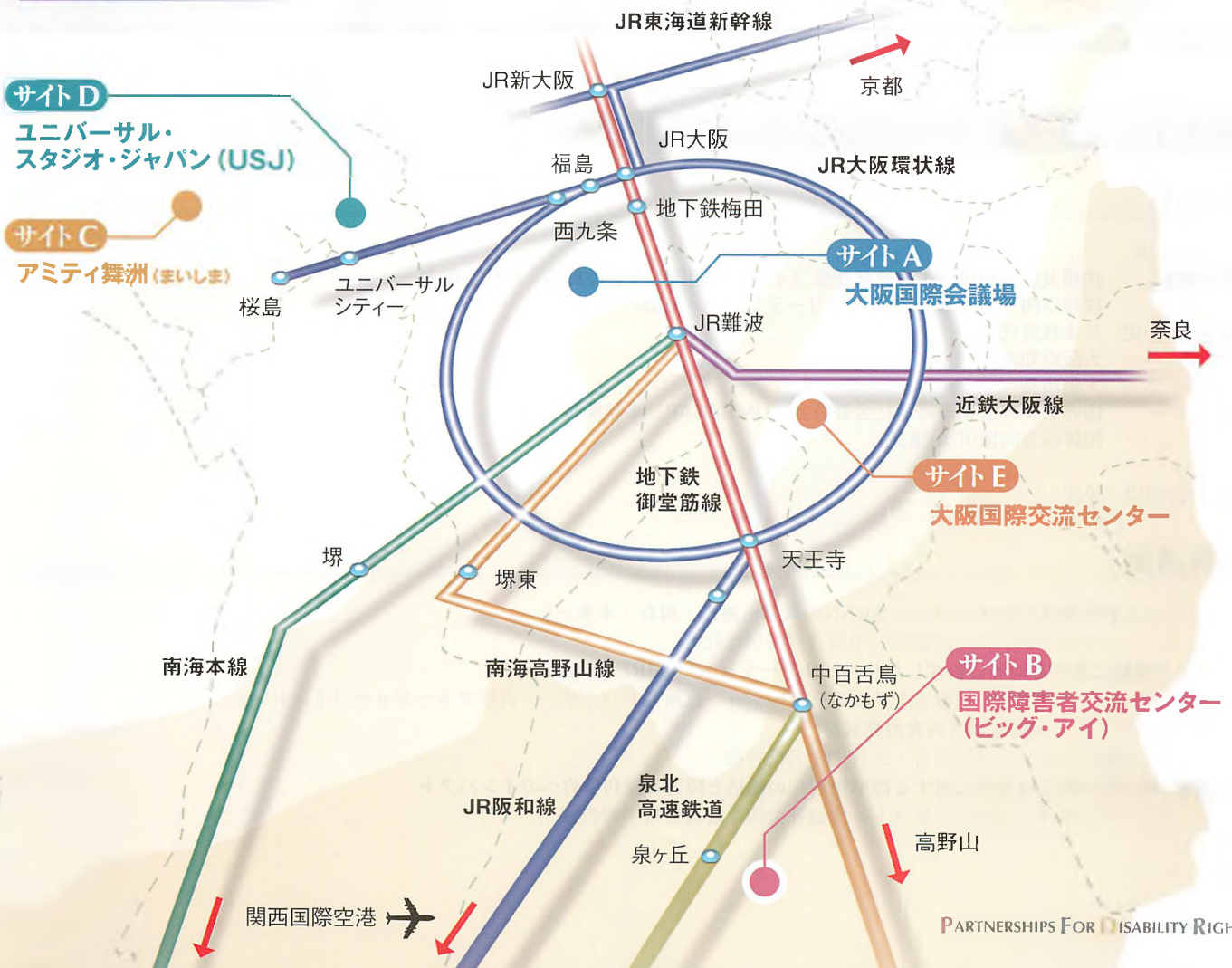


# プログラム概略

Program at a Glance

	10月21日(月)	10月22日(火)				10月23日(水)	
会議名	RI / RNN / 総合リハ / 職リハ	RI	RNN	総合リハ	職リハ	RI / RNN / 総合リハ	職リハ
会場	大阪国際会議場 (サイト A)	ビッグ・アイ (サイト B)	*P.12 参照	*P.12 参照	大阪国際交流センター (サイト E)	ビッグ・アイ (サイト B)	大阪国際交流センター (サイト E)
プログラム							
午前	開会式	全体会	見学 *P.12 参照	分科会 (サイト B) *P.12 参照	特別講演	全体会	研究発表 (ポスター、ビデオを含む)
	基調講演						
午後	パネルディスカッション	分科会	交流会 (サイト C) 又は USJ見学 (サイト D) *P.12 参照	USJ見学	国際交流分科会	閉会式	研究発表
	レセプション		夕食会 (サイト D)				

## サイト・マップ



Program at a Glance

# プログラム

10月21日(月)

Program October 21(Mon.)

Program October 21 (Mon.)

会議 / 場所	Schedule					
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	
<b>RI / RNN /</b> <b>総合リハ / 職リハ</b>  大阪国際会議場(5階) 〈サイト A〉  <small>RI / 第12回リハビリテーション・インターナショナル(RI) アジア太平洋地域会議                      RNN / 「アジア太平洋障害者の十年」 推進キャンペーン (RNN) 大阪会議                      総合リハ / 第25回総合リハビリテーション研究大会                      職リハ / 国際職業リハビリテーション研究大会</small>	9:30-10:50 開会式		11:00-12:30 基調講演		9:30-17:00 企画展示	

● 同時通訳 ▲ 逐次通訳

## 4会議合同プログラム

### 開会式

皇室のご臨席

主催者挨拶 挨拶及び特別講演：最終年記念フォーラム組織委員会委員長 八代 英太  
 挨拶：RI 会長 レックス・フリーデン（アメリカ）

来賓挨拶（予定） 日本政府代表  
 大阪府知事  
 大阪市長  
 国連アジア太平洋経済社会委員会（UN ESCAP）事務局長  
 国際障害同盟(IDA)議長

IDA宣言2002（予定）

### 基調講演

- 「アジア太平洋地域におけるRIおよびRNNの貢献－過去・現在・未来－  
 ハリー・ファン RI顧問（中国香港特別行政区）
- アジア地域における地域に根ざしたリハビリテーション（CBR）の進展  
 マヤ・トーマス 障害者リハビリテーション政策アドバイザー・研修マネージャー（インド）
- リハビリテーションにおける内発的発展論  
 鶴見 和子 社会学者・上智大学名誉教授
- 国連「障害者の機会均等化に関する標準規則」の総括と障害者権利条約へのインパクト  
 ベンクト・リンドクビスト 国連社会開発委員会特別報告者



13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
13:30-14:00 基調講演	14:15-16:45 パネルディスカッション				18:00-20:00 レセプション		

## パネルディスカッション

「障害者権利条約制定に向けて」

座長：アーサー・オライリー 前RI会長（アイルランド）  
平野みどり DPI日本会議副議長

パネリスト：国連人権委員会代表  
鄧 撲方（デン・プファン） 中国障害者連合会(CDPF)会長（中国）  
ジョシュア・マリンガ DPI世界議長（ジンバブエ）  
ビクトル・ウーゴ・フロレス・H. メキシコ大統領執務室長（メキシコ）  
エソップ・G・バハド 大統領府担当大臣（南アフリカ）  
ヘレン・ミーコシャ 障害をもつ女性オーストラリア副会長（オーストラリア）  
池原 毅和 日本弁護士連合会

助言者：ベンクト・リンドクビスト 国連社会開発委員会特別報告者

## レセプション

レセプションは第1日目(10月21日)に行います。貴重な交流の場でもありますので、是非ふるってご参加ください。

## 企画展示

企画展示は、会場前ロビー(5階)で行います。

内容：「アジア太平洋障害者の十年」の行動課題（国内調整、法律、アクセシビリティ、教育、雇用、リハビリテーション、自助団体など）の達成状況と今後の取り組み

# プログラム 10月22日(火)

Program October 22 (Tue.)

Program October 22 (Tue.)

会議 / 場所	Schedule					
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	
<b>RI</b> ビッグ・アイ 〈サイト B〉  <small>RI / 第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域会議</small>		9:30-12:30 全体会				
<b>RNN</b>  <small>RNN / 「アジア太平洋障害者の十年」推進キャンペーン (RNN) 大阪会議</small>	9:00-12:30 見学					
<b>総合リハ</b> アミティ舞洲 / USJ 3人 〈サイト C+D〉  <small>総合リハ / 第25回総合リハビリテーション研究大会</small>	9:30-9:50 開会式 ▲	9:50-12:00 分科会 ▲				
<b>職リハ</b> 大阪国際交流センター 〈サイト E〉  <small>職リハ / 国際職業リハビリテーション研究大会</small>	9:30-10:00 開会式 ●	10:00-12:00 全体会 (特別講演) ●				

● 同時通訳 ▲ 逐次通訳

## RI プログラム

### 全体会

「障害者差別禁止への取り組みーアジア太平洋地域の現状・課題・展望ー」

座 長：ナロン・パティバツアラキッチ 前タイ上院議員 (タイ)

北野 誠一 桃山学院大学教授

演 者：アジア太平洋地域で障害者差別禁止法制をもつ各国の代表

### 分科会

#### (I) 社会分野

テーマ：「障害とは何か：最新の障害概念の発展とその意義」(RI社会委員会共催)

座 長：佐藤 久夫 RIアジア太平洋地域社会委員会委員長 (日本社会事業大学教授)

ジョセフ・クォック RIナショナル・セクレタリー (中国香港特別行政区)

演 者：エルキ・ケンバイネン RI社会委員会委員長 (フィンランド)

ジョセフ・クォック RIサショナルセクレタリー (中国香港特別行政区)

上田 敏 WHO-ICF日本協力センター代表

#### (II) 教育分野

テーマ：「障害児の教育権ー全ての障害児に教育をー」

座 長：ベニー・プライス RIアジア太平洋地域教育委員会委員長 (オーストラリア)

植村 英晴 日本社会事業大学教授

演 者：ウマ・トゥリ RIアジア太平洋地域教育委員会副委員長 (インド)

ツレ・ジョンソン ヨテボリ大学 (スウェーデン)

松矢 勝宏 東京学芸大学教授



予 定

	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
13:30-16:30 分科会				17:00-20:00 夕食会			
	14:00-17:00 交流会・意見交換会または ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) 見学				18:00-20:00 夕食会 <b>USJ</b>		
	14:00-17:00 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) 見学						
13:30-17:00 国際交流分科会							

Program October 22 (Tue.)

### (III) 職業分野

- テーマ：「職業リハビリテーションおよび障害者雇用分野におけるパートナーシップ」  
座 長：デボラ・ウォン RIアジア太平洋地域就労・雇用委員会委員長（中国香港特别行政区）  
大瀧 憲一 RIアジア太平洋地域就労・雇用委員会副委員長（関東学院大学講師）

### (IV) アクセス分野

- テーマ：「障害者の権利を実現する福祉機器とアクセス」（RI・ICTA委員会共催）  
座 長：アーサー・マック RIアジア太平洋地域福祉機器・アクセス専門委員会委員長（中国香港特别行政区）  
山内 繁 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所長  
演 者：スティーブ・ティンガス 教育省国立障害研究所（アメリカ）  
バリー・シーガー 前リージェンシーパーク・リハビリテーション工学センター所長（オーストラリア）  
ヤン・イングバル・リンドストローム スウェリ会長（スウェーデン）  
河村 宏 日本障害者リハビリテーション協会情報センター長  
菊地 眞 防衛医科大学  
フォルケ・エリアッソン スウェーデン障害研究所（スウェーデン）

### (V) バリアフリー観光

- 座 長：ハンドヨ・チャンドラクスマ 地域に根ざしたりハビリテーション (CBR) 開発・研修センター（インドネシア）  
ピーナス・イラガン DPIアジア太平洋ブロック議長（フィリピン）

### (VI) 国際協力

- テーマ：「障害分野の国際協力を これからの障害者支援のあり方を考える」  
座 長：トーマス・ラガウォル RI事務総長  
寺島 彰 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部部長  
演 者：ジュディ・ヒューマン 世界銀行障害と開発アドバイザー（アメリカ）  
国際協力事業団 (JICA)、その他国内外の、社会貢献活動を行っている企業・財団・NPO代表

# プログラム 10月22日(火)

Program October 22 (Tue.)

## RNN / 総合リハ 合同プログラム

### 午前

Morning Program

#### I. RNN (見学)

1. 日本ライトハウス (視覚障害のある人々のための包括的サービス)
2. メインストリーム協会 (重い障害をもつ人の自立生活センター)
3. 知的障害のある人々を雇用している企業 (株式会社ダスキン、かんでんエルハート)
4. 大阪市舞洲障害者スポーツセンター<アミティ舞洲> (障害者スポーツセンター見学とスポーツ体験)
5. 共同作業所など、障害のある人々の働く場

#### II. 総合リハビリテーション研究大会 (大阪市舞洲障害者スポーツセンター (アミティ舞洲) サイトC) 分科会

1. ハードルのない地域…バリアフリーを考える  
司 会：辻 一 (社団法人大阪脊髄損傷者協会会長)
  2. 当事者性について考える…自立生活運動の実践報告：現状・展望  
司 会：尾上 浩二 (DPI日本会議)
  3. 障害者を締め出さない社会…欠格条項について  
司 会：牧口 一二 (大阪フォーラム組織委員会副委員長)  
シンポジスト：白井久美子 (障害者欠格条項をなくす会)、他
  4. 新しい地域福祉を遠望する…障害者プランの現状と新障害者プランへの提言  
司 会：楠 敏雄 (DPI日本会議副議長)  
シンポジスト：澤村 誠志 (兵庫県立総合リハビリテーションセンター顧問)、他
- 以上RNNからも参加歓迎

### 午後

Afternoon Program

#### I. RNN (交流会など)

1. 聴覚障害のある人々の交流会
  2. 精神障害のある人々の交流会
  3. 障害のある女性をとりまく問題に関する意見交換会
  4. その他の障害のある人々 (オストミーの人々を含む) の交流会
  5. ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) 見学
- ※交流会参加者はユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) 見学も予定しています。

#### II. 総合リハビリテーション研究大会

障害者を多数雇用しているバリアフリーテーマパークであるユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) 見学

### 夕食会

RNNと総合リハビリテーション研究大会参加者の夕食会がユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) で行われます。

### 当日の交通手段

#### 送迎バスをご用意します

1. 指定ホテル → 各参加者の午前のプログラムの開催場所
  2. 午前のプログラムの開催場所 → 午後のプログラムの開催場所
  3. 各プログラム開催場所 → USJ
  4. USJ → 指定ホテル
- (指定ホテル：P.22のホテル一覧をご参照ください。)



## 国際職業リハビリテーション研究大会

### 午前

Morning Program

#### 全体会(特別講演)

国際労働機関 (ILO) 関係者による職業リハビリテーションの国際的動向に関する特別講演 I と、日本人研究者による日本の職業リハビリテーションに関する特別講演 II を行う予定です。

### 午後

Afternoon Program

#### 国際交流分科会

分科会ごとにテーマを定め、海外からの発表者 3 人と日本国内の発表者 1 人による発表と討論、参加者との意見交換を行います。海外の発表予定者は次の通りです。日本国内の発表者は現在調整中です。

#### 分科会 1 : 「障害者雇用に関する法制度・施策」

- マイク・フロイド (ロンドン市立大学リハビリテーション・リソースセンター所長)
- サニー・ラップ・ケイ・シウ (中国香港特別行政区政府労働省上席労働担当官)
- グエン・マン・クン (ベトナム労働戦傷社会福祉省国際関係部副部長)

#### 分科会 2 : 「職業リハビリテーション (I) : 職業指導・評価、就職支援」

- ジャスティン・タン (ビズリンクセンター・シンガポール社代表)
- カタリナ・L・ファーミン (フィリピン障害者福祉協議会理事長)
- リー・クン (中国障害者連合会 (CDPF) 教育雇用部教科オフィサー兼職業カウンセラー)

#### 分科会 3 : 「職業リハビリテーション (II) : 職業能力開発」

- アブダル・リファイ・マス (インドネシア国立障害者職業リハビリテーションセンター所長)
- キム・ヤン・エイ (韓国障害者雇用促進公社職業リハビリテーション部副部長)
- N・J・パティラナ (スリランカ社会サービス省社会サービス局長)

#### 分科会 4 : 「民間企業における障害者雇用状況、好事例紹介」

- ジョフリー・ハーディ (オーストラリア・カーターニューウェル法律事務所所長)
- プーリッド・タナロンコーン (タイ・ジンタナアパレル社専務)
- モハメッド・ファッド・アハマッド (マレーシア・チップバック社人事部長)

# プログラム 10月23日(水)

Program October 23 (Wed.)

Program October 23 (Wed.)

会議 / 場所	Schedule					
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	
<b>RI / RNN / 総合リハ</b> ビッグ・アイ 〈サイト B〉  <small>RI / 第12回リハビリテーション・インターナショナル (RI) アジア太平洋地域会議                      RNN / 「アジア太平洋障害者の十年」推進キャンペーン (RNN) 大阪会議                      総合リハ / 第25回総合リハビリテーション研究大会</small>		9:30-12:30 全体会				
		9:30-16:00 研究発表・ビデオ発表				
	9:00-9:30 ポスター準備		10:45-11:00 ポスター討論タイム			
		9:30-16:00 企画展示				
<b>職リハ</b> 大阪国際交流センター 〈サイト E〉  <small>職リハ / 国際職業リハビリテーション研究大会</small>		9:30-12:00 研究発表				

● 同時通訳 \* ▲ 逐次通訳

## RI / RNN / 総合リハ 合同プログラム

### 全体会

9:30-12:30

「アジア太平洋障害者の十年の評価とポスト十年への取り組み」  
 座長：丸山 一郎 RNN事務局長  
 ジュディ・ウィー 障害者福祉協会（シンガポール）  
 演者：佐藤 久夫 RNNリサーチ・コーディネーター（日本社会事業大学教授）  
 キャンペーン開催各国代表（9名+数ヶ国）

13:30-16:00

「ポスト十年への取り組みを考える—新たなRNNの枠組みと活動を中心に—」  
 座長：松井 亮輔 RIアジア太平洋地域委員会委員長  
 ジョセフ・クオック RNNストラテジー・コーディネーター（中国香港特别行政区）  
 演者：国際障害同盟（IDA）加盟団体代表  
 障害者インターナショナル・アジア太平洋地域評議会（DPI）  
 国際育成会連盟アジア委員会（II）  
 リハビリテーション・インターナショナル・アジア太平洋地域委員会（RI）  
 アジア盲人連合（WBU）  
 世界ろう連盟アジア太平洋事務局（WFD）  
 世界盲ろう者連盟（WFDB）  
 精神医療利用者・生還者世界ネットワーク（WNUSP）

アドバイザー：アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）代表  
 アジア太平洋障害者センター（仮称）代表



予定

	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
13:30-16:00 全体会				16:00-17:00 閉会式			
		15:00-15:15 ポスター討論タイム		17:00-17:30 ポスター撤去			
13:30-15:30 研究発表							

Program October 23 (Wed.)

### 研究発表 (ポスター・ビデオ発表を含む)

18ページをご参照ください。

### 企画展示

ビッグ・アイのロビーで行います。

内 容：アジア太平洋障害者の十年と行動課題（国内調整、法律、アクセシビリティ、教育、雇用、リハビリテーション、自助団体など）の達成状況とこれからの取組み

### 国際職業リハビリテーション研究大会 プログラム

職業リハビリテーションの研究と実践に関するワークショップ（日本語のみ）

国際職業リハビリテーション研究大会に参加希望の方は、日本障害者雇用促進協会にお問い合わせください。（P.5参照）

### 閉会式

16:00-17:00

主催者挨拶 最終年記念フォーラム組織委員会委員長代行 山下 眞臣

次回各会議主催者代表

来賓挨拶 堺市長、他

大阪アピール採択

# 参加登録方法 (RI / RNN / 総合リハ研究大会)

Registration

## 登録用紙 (フォーム A)

発表者 (座長、演者など) の方も含め参加を希望される方はすべて、下記の何れかの方法で申し込みをお願いします。ご記入の際、RI / RNN / 総合リハのいずれに登録されるかを明記の上、ご登録ください。

### 1. ホームページ登録

<http://www.normanet.ne.jp/~osakaf/>

登録を迅速に処理するため、なるべくインターネットからの登録をお願いしております。

上記のホームページにて簡単にご登録いただけます。詳細は会議ホームページでご案内しております。

### 2. 郵送またはファックス

ホームページから登録できない場合は、郵送またはファックスでの登録も可能です。

登録用紙 (フォーム A) に必要事項をご記入の上、下記登録事務局宛にお送りください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-5-27 乃木坂ミツビル4F

(株)コンベンション リンケージ内

大阪フォーラム 登録事務局

TEL : 03-5770-5792 FAX : 03-5770-0818

E-mail : osaka-forum@secretariat.ne.jp

## 登録料

以下の登録料は日本語の登録用紙 (フォームA) および日本語のホームページから登録される方に限ります。登録料の支払確認をもって登録完了とさせていただきます。

### RI / RNN / 総合リハ登録料

	全日程参加 登録料	1日参加登録料		
		10月21日のみ	10月22日のみ	10月23日のみ
一般参加者	¥25,000	¥15,000	¥15,000	¥10,000
同伴者 <sup>1)</sup>	¥15,000	¥10,000	¥10,000	¥6,000
学生 <sup>2)</sup>	¥15,000	¥10,000	¥10,000	¥6,000
介助者 <sup>3)</sup>		無料		

1) ご参加いただける同伴者は一般参加者1人につき1名とさせていただきます。

2) 学生として登録される方は、登録用紙 (フォームA) に学生証のコピーを添付してください。ホームページから登録される場合も、学生証コピーを郵送、またはFAXしてください。その際にはホームページから登録した時に発行される登録受付番号を明記してください。

3) 障害のある方 (学生を含む) が参加される場合、1人につき介助者1名が無料となります。

登録料には次のものが含まれます (一部不参加の場合でも登録料は変わりません) :

#### [RI 参加者登録の場合]

RI一般参加者として登録された場合には、RIプログラム、RI / RNN合同セッション、研究発表のほか、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、ビッグ・アイでの夕食会にご参加いただけます。またコンgresバッグ、会議プログラム、抄録集、参加者名簿、その他会議資料を受け取ることができます。

RI同伴者として登録された方は、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、ビッグ・アイでの夕食会にご参加いただけます。

#### [RNN 参加者登録の場合]

RNN一般参加者として登録された場合には、RI / RNN合同プログラム、RNNプログラム / 見学 (USJも含む)、研究発表のほか、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、USJでの夕食会にご参加いただけます。またコンgresバッグ、会議プログラム、抄録集、参加者名簿、その他会議資料を受け取ることができます。

RNN同伴者として登録された方は、開会式、レセプション、閉会式、コーヒープレイク、展示、USJでの夕食会にご参加いただけます。



### [総合リハ研究大会 参加者登録の場合]

総合リハ研究大会一般参加者として登録された場合には、総合リハ / RNN合同プログラムへの参加、総合リハ / RI / RNN合同プログラム、研究発表のほか、開会式、レセプション、閉会式、コーヒーブレイク、展示、USJ見学およびそこの夕食会にご参加いただけます。またコンgresバッグ、会議プログラム、抄録集、参加者名簿、その他会議資料を受け取ることができます。

総合リハ研究大会同伴者として登録された方は、開会式、レセプション、閉会式、コーヒーブレイク、展示、USJでの夕食会にご参加いただけます。

### [1日参加登録の場合]

参加申し込みされた日のすべてのプログラムにご参加いただけます。また、コンgresバッグ、会議プログラム、抄録、参加者名簿を受け取ることができます。

### [学生参加者登録の場合]

学生参加者として登録された場合には、一般参加者と同じプログラムにご参加いただけます。お渡しできるのは会議プログラムのみとさせていただきます。

## 事前登録と当日登録受付

事前登録は、平成14年9月13日をもって受付を終了させていただきます。なお、事前受付終了後は当日会議場での登録となります。お支払は現金とクレジット・カードのみとなります。

参加者名簿への記載は事前登録をされた方に限ります。

## お支払方法

登録料のお支払いは次のいずれかの方法をお願いします。

#### ◆銀行振込

振込手数料は参加者にご負担ください。ホームページで登録される場合は、登録した際に発行される登録受付番号を必ず明記して振込明細票を登録事務局宛てFAXまたは郵送でお送りください。郵送の場合は、確認のため振込明細票のコピーを登録用紙（フォームA）に添付の上登録事務局宛てお送りください。

振込先銀行：東京三菱銀行 六本木支店（支店番号045）

口座名：大阪フォーラム

口座番号：1385509

住所：〒106-0032 東京都港区六本木4-9-7

TEL 03-3408-8111

注：送金者の氏名は参加者の氏名と一致させてください。（団体名、社名等で振り込まれる場合は、フォームAの所定の欄にその旨ご記入ください。）

#### ◆クレジット・カード

アメリカン・エクスプレス、VISA、マスターカードがご利用いただけます。クレジット・カードでお支払いの場合は必ず登録用紙（フォームA）の所定欄に必要事項をご記入ください。

#### 登録の完了

フォームAをお送りいただき、登録料をお支払いいただいた時点で正式登録とさせていただきます。登録事務局より登録番号を記入した登録証をお送りします。会議当日、受付にて登録証をご提示ください。

#### キャンセル

参加を取消される場合は必ず電話で登録事務局までご連絡のうえ、書面をお送りください。その際には登録受付番号が必要となります。

以下の金額を会議終了後払戻いたします。

平成14年8月31日までに取消しのご連絡を頂いた場合：登録料の50%（送金料が差引かれます）

平成14年9月1日以降に取消しのご連絡を頂いた場合：払戻しできません。

# 研究発表募集および抄録提出方法

Submission of Abstracts

RI、RNN、総合リハでは研究発表（ポスター、ビデオ発表を含む）を歓迎いたします。発表は英語のみで、抄録も英語で作成していただきますが、総合リハでのポスター発表では日本語も可能です。

お申込の際は、抄録提出用紙（フォームB）をご利用ください。

フォームBを送付の際には登録用紙（フォームA）もご記入の上ご同封ください。

研究発表は第3日、10月23日（水）に行います。

## 発表について

発表者は一般参加者に限らせていただきます。応募には下記の「抄録作成上の注意」にしたがって書かれた抄録の提出が必要です。抄録の提出期限は2002年7月22日（必着）とさせていただきます。演題の採否はプログラム委員会にご一任ください。採否通知は、応募者宛に8月12日までに発送いたします。なお発表の会場、時間帯はその後9月7日までにお知らせします。

## 口頭発表

口頭発表として採用された演題はP.19のテーマごとに分類されます。発表時間は10分間とし、続いて5分間の討論を行います。

## ポスター

ポスターはP.19のテーマごとに分類され、10月23日 9:30~16:00に各ポスター会場に展示されます。ポスターのサイズは採否通知の際にお知らせします。ポスターの上部にタイトル、発表者名、所属を明記ください。

ポスター討論タイム（10:45~11:00、15:00~15:15）には発表者はポスター展示場所で待機し、質問討論等に応じてください。

## ビデオ発表

ビデオの使用言語は英語とします。ビデオ上映時間は最長で60分以内とさせていただきます。ビデオが上映されている間は発表者は上映場所に待機して質問等に応じてください。

## 抄録作成上の注意

抄録は英文で作成することとし、約200語にまとめてください。表や図は入れないでください。書体は“Times”あるいは“Times New Roman”で、サイズは10.5ポイントとします。抄録には、研究目的、対象、方法、成果の要約、結論を入れてください。

### 日本語によるポスター発表（総合リハ）

総合リハのポスター発表を日本語で行う場合には抄録は日本語で作成してください。書体は明朝体で10.5ポイントにし、所定の枠内に納めてください。

### 抄録提出方法

#### 1. 会議ホームページ

インターネットをご利用ください。

<http://www.normanet.ne.jp/~osakaf/>

オンライン応募フォームはすべての欄に記入してください。抄録はご提出いただいたままの形で印刷されます。事務局ではスペリング等の訂正はいたしませんのでご注意ください。

会議ホームページで抄録を提出される場合は、フォームAを完全にご記入いただいた後にフォームBへ進んでください。抄録は登録料のお支払いを確認させていただいた時点で正式に受け付けをさせていただきますので、フォームAにクレジットでお支払いいただくための必要事項をご記入いただくか、口座振込される場合は振込明細票をFAXまたは郵送で大阪フォーラム登録事務局（P.16参照）までお送りください。

## 2. 郵送

インターネットでの提出が困難な方は、郵送していただくことも可能です。

提出される抄録それぞれにつき、フォームBとそのコピー2部を同封してください。

原稿はそのままの状態で開催されますので、文字は鮮明に印字してください。

フォームBを郵送される際には、登録料の振込明細票のコピーを添付していただくか、クレジットカードでお支払いされる場合には必要事項を記入いただいた登録用紙（フォームA）を同封してください。

\* 抄録を迅速に評価、処理するため、できるだけインターネットからご提出くださいますようお願いいたします。

FAX、Eメールでの提出はできませんのであらかじめご了承ください。

## テーマリスト

発表を希望される方は、抄録提出時に下記のリストの中からテーマをお選びください。提出いただいた抄録は全て検討の上、テーマごとにグループ分けします。申し込まれる研究発表の内容が下記のテーマのいずれにも該当しない場合は、「その他」に分類してください。「その他」として応募いただいた抄録も他と同様に検討されます。

- (1) アクセシビリティ
- (2) バリアフリー交通
- (3) 組織と運営管理
- (4) 切断者リハビリテーションと義肢
- (5) バリアフリー観光
- (6) 脳性麻痺その他の小児期の障害
- (7) 文化・芸術活動
- (8) 障害者運動
- (9) 知的障害
- (10) エンパワーメントとQOL
- (11) 障害者の人権と差別禁止法
- (12) インクルーシブ教育
- (13) 自立生活運動
- (14) 情報・コミュニケーション・テクノロジー (ICT)
- (15) 国際協力
- (16) 精神保健と精神障害者のリハビリテーション
- (17) 政策策定過程への参加
- (18) 農村における障害者
- (19) 政策と法制
- (20) 障害原因の予防
- (21) 意識向上とマスメディア
- (22) 地域に根ざしたリハビリテーション (CBR)
- (23) 社会リハビリテーション
- (24) 脊髄損傷
- (25) 障害者スポーツとレジャー
- (26) 脳卒中と高齢者のリハビリテーション
- (27) 職業リハビリテーションと障害者雇用
- (28) 障害をもつ少女・女性をとりまく問題
- (29) その他



# 交通

Access

Access



## ● 関西空港 — 大阪国際会議場

関西空港より、JR関西空港線 関空快速で大阪駅へ（乗車時間65分）。  
大阪駅北口よりホテルバスにて、リーガロイヤルホテルへ（乗車時間10分）。  
大阪国際会議場はリーガロイヤルホテルに隣接しています。

## ● JR新大阪駅 — 大阪国際会議場

新大阪駅よりJR東海道本線にて大阪駅へ（乗車時間4分）。  
大阪駅北口よりホテルバスにてリーガロイヤルホテルへ（乗車時間10分）。  
大阪国際会議場はリーガロイヤルホテルに隣接しています。

## ● 関西空港 — ビッグ・アイ

関西国際空港より泉ヶ丘行きリムジンバス（南海）にて泉北高速鉄道泉ヶ丘駅へ（乗車時間約1時間）。  
ビッグ・アイまで徒歩3分。

## ● JR新大阪駅 — ビッグ・アイ

JR / 地下鉄 新大阪駅より地下鉄御堂筋線なかもず行で終着駅なかもず駅下車（乗車時間40分）。  
泉北高速鉄道中百舌鳥（なかもず）駅より和泉中央方面行で「泉ヶ丘駅」へ（乗車時間7分）。  
ビッグ・アイまで徒歩3分。

# 宿 泊

Accommodation

## 旅行会社

大阪フォーラムの旅行会社には㈱日本旅行（NTA）が指定されています。NTAは大会期間中のみなさまのニーズと予算を考慮に入れ、様々なホテルを数多くご用意しております。大会参加者は特別割引料金にてご利用いただけます。ただし、この特別料金はホテルを直接ご予約なさる参加者には適用されません。

## ご予約

質の高い、信頼できるサービスをご提供できるホテルを豊富にとり揃えております。皆様の宿泊施設に関するニーズに十分お応えできるはずです。お好みのホテルの客室を必ずご利用いただけますよう、早めのご予約をお勧めします。ご予約は先着順とさせていただきます。お選びいただいたホテルがすでに満室となっている場合には、第2、第3希望のホテルを予約させていただきますこととなります。重ねて早めのご予約をお願いいたします。

## お申し込み

添付のホテル申し込み用紙にご記入の上、NTAの国際旅行センターまでご返送ください。締め切りは2002年9月13日です。予約手続き完了後確認書をお客様宛てに送付します。ご質問とお申し込みは下記宛てにお願い致します。

㈱日本旅行  
大阪支店 大阪フォーラム事務局  
〒541-0051  
大阪府大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル6階  
TEL：06-6204-1922 FAX：06-6204-4500  
E-mail：kansai\_inbound@nta.co.jp  
URL：http://www6.nta.co.jp/osaka/mainframe.html  
所長：小西 晶 / 担当：中井孝一 藤本裕子

## お支払い

お支払いは銀行手数料と共に下記のいずれかの方法でお願いします。

申し込み用紙には必ずご署名をお願いいたします。

- クレジットカード：ビザ、マスターカード、アメリカン・エキスプレス、ダイナースクラブ
- 銀行振込 三井住友銀行 備後町支店  
口座名：㈱日本旅行 大阪支店 大阪フォーラムデスク  
普通預金口座  
口座番号：1550557

申し込み用紙受領後、日本旅行から確認書と申し込み金10,000円を記載した請求書をお送りします。

上記の金額、10,000円が支払われた時点でホテルの予約が確定します。クレジットカードでのお支払いは申し込み用紙を受取った後に日本旅行が引き落とします。宿泊料金の残金（申し込み金10,000円を除いた金額）につきましては、チェックアウトの際に宿泊先フロントにてご精算ください。

## キャンセル

予約を変更・取消される場合には、電話でなく、ファックスなど書面にてお知らせください。取消の場合は、下記の規定に基づき取消料を申し受けます。

10月7日以前 \_\_\_\_\_ 無料  
10月15日以前 \_\_\_\_\_ 1泊分の料金の20 %  
10月16日以降、または通知がない場合 \_\_\_\_\_ 1泊分の料金の100 %



# 宿泊

Accommodation

## ホテルリストと宿泊料

2002年10月16日から25日まで下記のホテルをご利用いただけます。

宿泊施設の手配には添付のホテル申し込み用紙をご利用ください。

早めのご予約をお勧めします。

- 料金には朝食代、10%のサービス料、および税がすべて含まれています。
- ツインルームの料金には2人分の朝食代が含まれています。
- 朝食を召し上がらない場合でも朝食代を料金からお引きすることはできません。
- 料金はNTAが参加者のみなさまにご提供する特別割引料金です。この料金が適用されるのはNTAを通して予約された方に限ります。
- 客室数には限りがありますので、ご希望のホテルをご利用いただけない場合もあります。このような事態に備えて、申し込み用紙中で①エリア、あるいは②予算のどちらを優先されるかを選択してください。

### 車いす対応宿泊施設

エリア	ホテル カテゴリー	コード	ホテル名	シングルルーム 料金	ツインルーム 料金	車いす可能な ルーム料金
	----	①	ビッグ・アイ (全部屋障害者用施設完備)	¥6,800 ¥8,800		¥6,800 ¥8,800
	----	②	*アミティ舞洲/ロジ舞洲 (ほとんどの部屋が障害者用設備完備)	¥7,500 ¥8,500		¥7,500 ¥8,500

\* 障害者手帳をお持ちの方は特別料金が適用になりますので、その旨申し込み用紙にお書き添えください。

### その他のホテル (車いす対応の部屋も少数ながらあります)

エリア	ホテル カテゴリー	コード	ホテル名	シングルルーム 料金	ツインルーム 料金	車いす可能な ルーム料金
A 難波	****	③	南海サウスタワーホテル大阪	¥17,400 (22m <sup>2</sup> )	¥25,200 (32m <sup>2</sup> )	N/A
	***	④	なんばオリエンタルホテル	¥11,100 (23m <sup>2</sup> )	¥20,000 (32m <sup>2</sup> )	N/A
	**	⑤	ホリデーイン南海大阪	¥13,200 (24m <sup>2</sup> )	¥22,300 (28m <sup>2</sup> )	¥18,400 (28m <sup>2</sup> )
	*****	⑥	ホテル日航大阪	¥19,000 (19m <sup>2</sup> )	¥34,100 (27m <sup>2</sup> )	N/A
	**	⑦	ホテル南海なんば	¥9,000 (14m <sup>2</sup> )	¥14,700 (19m <sup>2</sup> )	N/A
B 堺	**	⑧	シティーホテルサンプラザ堺	¥8,000 (7m <sup>2</sup> )	N/A	N/A
	****	⑨	リーガロイヤルホテル堺	¥11,100 (25m <sup>2</sup> )	¥18,900 (33m <sup>2</sup> )	N/A
	***	⑩	ホテルサンルート堺	¥8,300 (13m <sup>2</sup> )	N/A	N/A
	**	⑪	ホテル南海さかい	¥7,700 (14m <sup>2</sup> )	N/A	N/A
C 大阪北部	*****	⑫	リーガロイヤルホテル大阪	¥15,750 (18m <sup>2</sup> )	¥29,400 (24m <sup>2</sup> )	¥29,140 (32m <sup>2</sup> )
	****	⑬	ホテル阪神	¥13,200 (20m <sup>2</sup> )	¥24,200 (30m <sup>2</sup> )	N/A
D	***	⑭	天王寺都ホテル	¥15,400 (18m <sup>2</sup> )	¥26,200 (28m <sup>2</sup> )	N/A
E 関西国際空港	****	⑮	ホテルサンルート関西空港	¥7,900 (17m <sup>2</sup> )	¥13,800 (20m <sup>2</sup> )	N/A

ホテルマップ



Accommodation





(79) 2012 10月-9日  
550-0002 中百又



323 堀  
1-25-29  
24104  
KNEn

## 連絡先一覧

「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念フォーラム  
大阪フォーラム

### 大阪フォーラム事務局

〒547-0026 大阪府大阪市平野区喜連西6-2-55  
大阪市職業リハビリテーションセンター内  
電話：06-6704-7201 Fax: 06-6704-7274  
E-mail: osakaforum@v-sien.org

### 大阪フォーラム登録事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂9-5-27  
乃木坂ミツビル4F  
(株)コンベンションリンケージ内  
電話：03-5770-5792 Fax: 03-5770-0818  
E-mail: osaka-forum@secretariat.ne.jp

### 旅行会社

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-4-1  
山口玄ビル6階  
(株)日本旅行 大阪支店  
大阪フォーラム事務局  
電話：06-6204-1922 Fax: 06-6204-4500  
E-mail: kansai\_inbound@nta.co.jp  
URL: <http://www6.nta.co.jp/osaka/mainframe.html>

### 最終年記念フォーラム総合事務局

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1  
(財)日本障害者リハビリテーション協会内  
電話：03-5292-7628 Fax: 03-5292-7630  
E-mail: forum@dinf.ne.jp

会議の最新情報、詳細に関してはホームページをご覧ください。

<http://www.normanet.ne.jp/~osakaf/>

中山

有田

2012

(180) 11月 06-6225-2078





**OSAKA FORUM**